

厚生・産業常任委員会 県外行政調査

1 調査日 平成27年11月11日（水）～13日（金）

2 調査の概要

11月11日（水）

（1）福岡市立こども病院（福岡県福岡市）

調査事項：病院の概要と業務内容等について

同病院は、前身の福岡市立こども病院・感染症センターの老朽化、狭隘化に伴い平成26年11月に移転開院し、小児・周産期医療における高度専門医療の推進や地域医療・国際医療への貢献等を基本方針として独立行政法人福岡市立病院機構により運営されている。手術室やICU（集中治療室）などを同一フロアに配置していることや病棟を個室主体で整備しているほか、敷地内には、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンが運営する患児家族滞在施設「ふくおかハウス」を併設するなどの特徴がある。本県においては今年度、県立小児保健医療センターの基本構想の策定に取り組んでいることから、同病院の概要と業務内容等を調査した。



11月12日（木）

（2）北九州市議会（福岡県北九州市）

調査事項：観光振興について

北九州市においては平成26年5月に「北九州市観光振興プラン」を策定し、歴史と文化のある5つの伝統を活かした観光テーマづくりをコンセプトに、「北九州市＝観光都市としてのブランディング」「北九州市ならではの地域資源の観光資源化」「セールスプロモーション戦略の推進」「インバウンド戦略の取り組み強化」などを基本戦略として観光振興に取り組んでいる。また、平成27年7月には、北九州市内にある官営八

幡製鐵所関連施設が構成資産に含まれる「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界遺産登録されている。

については、本県における海外からの観光客誘致の強化や魅力発信の取り組み等、観光施策の参考とするため同計画の概要や事業内容等について調査した。



(3) 障害者自立支援ショップ「一丁目の元気」(福岡県北九州市)

調査事項：施設の概要について

NPO法人北九州小規模連が運営する「一丁目の元気」は、障害のある方々による手作り商品の販売促進と、ものづくりを通じた社会参加を推進する役割を担うアンテナショップであり、障害者施設や小規模作業所等で作られた食品や小物雑貨などを販売するとともに、障害者施設等と地域を結びつける役割を担っている。については、本県の障害者の自立支援の取り組みの参考とするため、施設の概要について調査した。



(4) ウォータープラザ北九州(福岡県北九州市)

調査事項：北九州市の水ビジネスの取り組みについて

施設の概要について

ウォータープラザ北九州は、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、海外水循環ソリューション技術研究組合(GWS TA)と北九州市が協力・連携して開設した施設で、省エネルギー型造水プラントの運営実証を行う「デモプラント」と、民間企業が機器を持ち込んで水処理要素技術の研究開発を行う「テストベッド」を備え、自治体が持つ事業運営ノウハウと民間企業の高い技術力を結集して、海外での事業化を目指して実証研究を進めている。また、平成22年には企業や北九州市を初めとする関係機関で構成される北九州市海外水ビジネス推進協議会が設立され、北九州市における官民連携による海外水ビジネスに向けた取り組みを積極的に推進することを目的とし、民間企業のシーズおよびニーズの把握、海外の現地ニーズの調査、会員や関係機関等との情報交換・共有、官民連携による海外展開の手法や具体的な案件形成に向けた検討・推進の活動を行っている。

については、本県の水環境ビジネス推進にかかる取り組みの参考とするため、北九州市における水ビジネスの取り組みおよび施設の概要等について調査した。



11月13日(金)

(5) 広島県議会(広島県広島市)

調査事項①: 医工連携の取り組みについて

広島県においては、新たな産業の育成の一環として医療・健康関連産業のクラスター形成の実現を目指し、平成24年7月に「医療関連産業クラスターアクションプラン」を策定して、大学や病院等と連携し、様々な実証実験を行う事の出来る「実証フィールド」の構築など、具体的な取り組みを進めているところである。本県においては健康創生産業の創出・振興に取り組んでいることから、今後の参考とするため、広島県における医工連携の取り組みについて調査した。

調査内容②：子育て支援の取り組みについて

広島県においては、「ファミリー・フレンドリーな魅力あふれる広島県」をめざし、平成 27 年 3 月に「ひろしまファミリー夢プラン」を策定し、「広島で結婚・妊娠・出産し、子育てしたいと思える環境整備」「女性の働きやすさ日本一への環境整備」「全ての県民が子育てを支える環境整備」「たくましく健やかに生きる力をもつ子供たちを育成する環境整備」の 4 つの施策で取り組むこととしている。中でも子育て支援については、認可保育所等が入所待ちになった際の認可外保育施設利用料との差額を助成する全国初の制度の創設や、地域開放型の事業所内保育所の県庁での開設（予定）など、独自の取り組みがなされている。については、本県における子育て支援施策の参考とするため、広島県の取り組みについて調査した。



（6）広島平和祈念資料館（広島県広島市）

調査事項：施設の概要について

昭和 30 年に開館した広島平和記念資料館は、開館から 50 年以上が経過し、本館の老朽化が進んでいることや被爆者が高齢化していく中でどのように被爆体験を継承・伝承していくかという課題に対応するため、平成 19 年に「広島平和祈念資料館更新計画」を策定した。この中では建物改修のほか、展示整備や管理運営、被ばく体験証言活動についての今後の方向性が示されており、中でも被爆体験証言活動については、証言者の確保と証言活動への支援の充実と被爆体験のない人が被爆体験を継承・伝承していくための方策の拡充が方向性として示されている。については本県の平和祈念館事業の参考とするため、施設の概要について調査した。



(7) がん高精度放射線治療センター（広島県広島市）

調査事項：施設の概要について

広島県では、がん対策日本一の実現を目指し、平成 25 年 3 月策定の「第 2 次広島県がん対策推進計画」に基づきがん検診受診率の向上やがん診療連携拠点病院の機能強化等の医療提供体制の充実などの取り組みを進めている。その中で、医療内容充実を目指して、広島がん高精度放射線センター（HIPRAC）が平成 27 年 10 月 1 日に開設された。同センターは無床で通院治療を原則とし、がん診療連携拠点病院を初めとする病院や診療所と連携し、高精度放射線治療を実施している。については本県のがん対策の参考とするため、施設の概要について調査した。

